

新しい時代に対応する学校管理職等研修の試行

調査の概要

◆課題認識

- ・校長をはじめとする学校職員が、新しい学校づくりに対して自信を持って取り組む礎となる、研修プログラムを作成する必要がある。

◆調査研究の目的

- ・理念の浸透を図る。
- ・情報を収集・分析する能力を高め、組織の在り方や手段に新しい視点を獲得する。
- ・全国各地の教育委員会等のニーズに応えるため、研修講師を育成する。

◆調査対象

- ①学校管理職リーダーシッププログラム
 - ・新潟市（小・中新任校長，指導主事，36人）
- ②教員用マネジメントプログラム
 - ・大津市（小・中教員，指導主事，19人）
- ③学校管理職マネジメントプログラム
 - （各地域等の経費負担による研修実施を含む。）
 - ・成果発表会（学校管理職等，32人）
 - ・長野県教育委員会 ・三重県教育委員会
 - ・沖縄県教育庁国頭教育事務所 ・函館市教育委員会
 - ・大津市教育委員会 ・天理市教育委員会
 - ・延岡市教育委員会 ・沖縄県市町村教育委員会連合会
 - ・北海道立教育研究所 ・福井県教育総合研究所
 - ・浜松市総合教育センター ・神戸市総合教育センター

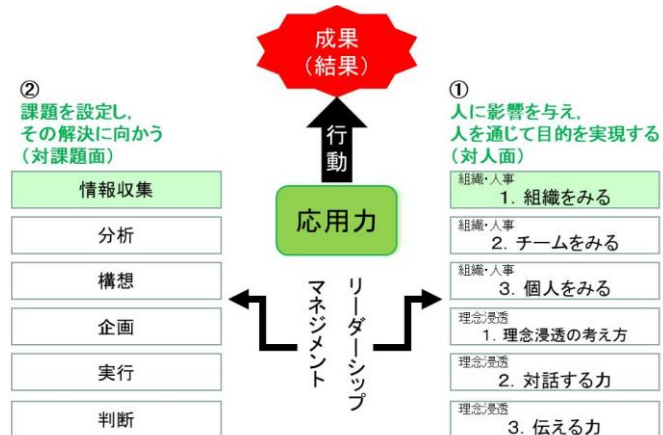
取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①学校管理職リーダーシッププログラムの構築
 「学校教育目標」の理念浸透を主眼におきながら、学校経営に必要とされる**対人面の能力を育成するプログラム**を開発・試行する。

②教員用マネジメントプログラムの構築
 学校管理職マネジメントプログラムを応用し、保護者や地域の情報を収集・分析する**対課題面の能力を育成するプログラム**を開発・試行する。

③学校管理職マネジメントプログラムの成果発信
 昨年度までに開発した6つのプログラムの成果を東京都から全国へ情報発信する。



◆成果

- ・学校現場の働き方改革に繋がる能力育成
- ・全国各地に研修講師を配置し、人材バンク的なネットワークの構築

今後の課題

◆研修継続受講への支援

- ・学校管理職リーダーシッププログラムの構築（組織をみるから個人をみるまで）
- ・教員用マネジメントプログラムの構築（情報収集から構想まで）
- ・研修講師の育成